



とよみなみ

平成23年 9月30日
豊玉南小学校だより

平成23年度10月号

灯火親しむべき候

校長 植村 茂樹

暑さ寒さも彼岸までと言われますが、夏の暑さがうそのように、秋分を過ぎてから朝晩めっきり涼しくなってきました。ところで、今夏は過去4番目の暑さでしたが、全国の使用電力のピークは、記録的な冷夏だった1993年に次ぐ低い水準だったそうです。早くから節電が叫ばれ、夏に入ってから、その日の予想使用電力の割合が毎日報道されていましたが、その成果でしょうか。改めて、具体的な目標を示すことの実感しました。

秋風を感じ始めると、『灯火親しむべき候』読書に最適の時期となります。子供たちには、ぜひこの時期、読書に親しんでほしいと思います。最近、読書が学力向上に大きな影響を与えると話題になっています。確かに、学力が高いとされるフィンランド国民は読書量が多く、世界一本を読む国民だそうです。学力向上はともかく、読書は倫理観や道徳心が養われ、人格形成の上でも大変効果があります。読書教育を推進している保育園として名高い、通山保育園理事長の横峯吉文氏は、「子供に1冊の本を最後まで読ませ達成感をもたせれば、小学校に入学するまでに平均1500冊の本が読める」と述べています。この保育園の卒園児は小学校でも読書を続け、多くの子が卒業

までには3000冊程度読破すると言います。本に興味をもたせ、習慣化させればかなりの読書量を誇る子供が育つというわけです。

新校舎になり、図書館も新しくなりました。今年度から、図書館管理員（高橋弥生さん）が配置され、新しい学校図書館の管理運営がスタートしました。この半年で、高橋さんやこれまで本校の図書館運営に尽くされてきた開放図書館の皆様のお陰で、子供たちが本に親しむ環境が随分整ってきました。残念ながら、本校の蔵書数は少なく、計画的に本を増やしていく必要があります。子供たちが足繁く図書館に通う姿もあまり見られません。課題も多々ありますが、少しずつ豊南小図書館を充実させ、読書好きの子供たちを大勢育てたいと思います。

「読書は心の糧」「読書は心の栄養」と言われるように、小学校の読書は一生の財産となります。「冊読破」というように具体的な目標をもって読書に取り組むのも習慣化する上で効果があるでしょう。親子で本と向き合い、読後の感想を述べ合うのも、読書を楽しむ方法です。色々な工夫でどの子も本に親しみ、読書習慣が身に付く秋になってほしいものです。



10月の行事予定

- 1日(土) 都民の日
- 5日(水) 研究授業(2の3)
- 14日(金) 終業式
- 16日(日) 練馬祭り
- 17日(月) 始業式
- 18日(火) 全校練習
- 19日(水) 全校練習
- 20日(木) 全校練習
- 21日(金) 4時間授業
全校練習(予備)
運動会前日準備



- 22日(土) **運動会**
- 24日(月) 振替休業日
- 26日(水) 4時間授業
避難訓練

22日の運動会が雨天の場合は、23日(日)に延期です。また、その日も雨天の場合は、中止になります。詳しくは、運動会のお便りをご覧ください。